



2025 年 11 月 26 日

会社名 株式会社ハピネス・アンド・ディ
(東証スタンダード市場・コード 3174)
代表者名 代表取締役社長 前原 聡
問合せ先 取締役管理部長 丸山 誠
電話番号 03-3562-7525

上場維持基準の適合に向けた計画（改善期間入り）について

当社は、2024 年 11 月 14 日に上場維持基準適合へ向けた計画を提出・開示し、2025 年 4 月 14 日に同計画の株主還元策に関する一部変更を開示しております。今般、2025 年 8 月 31 日時点において、東京証券取引所スタンダード市場における上場維持基準に適合しない状況となったことを受け、下記のとおり、上場維持基準の適合に向けた計画を作成いたしましたので、お知らせいたします。

記

一. 当社の上場維持基準の適合状況及び改善期間

当社の 2025 年 8 月 31 日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており、流通株式時価総額については基準を充たしておりません。当社は流通株式時価総額基準を充足させるため、各種取組みを進めてまいります。なお、2026 年 8 月 31 日までの改善期間内に上場維持基準（流通株式時価総額）に適合していることが確認できなかった場合には、東京証券取引所より監理銘柄（確認中）に指定されます。その後、当社が提出する 2026 年 8 月 31 日時点分布状況表に基づく東京証券取引所の審査の結果、同基準に適合していないと確認された場合には、整理銘柄に指定され、当社株式は 2027 年 3 月 1 日に上場廃止となります。

	株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
上場維持基準	400 人以上	2,000 単位以上	10 億円以上	25%以上
当社の適合状況 (2025 年 8 月末時点)	5,204 人	11,443 単位	8.13 億円	44.1%
抵触項目			○	
計画期間（改善期間）			2026 年 8 月 31 日	

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

二. 上場維持基準の適合に向けた取組みの基本方針、課題及び取組内容

1. 基本方針

上場維持基準に定める流通株式時価総額は、流通株式数×株価にて計算されますが、流通株式数は上場維持基準の観点からは十分な水準にありますことから、株価の向上へ向けて収益の改善と当社グループの企業価値の向上に取組むことを基本方針といたします。

2. 課題

- (1) ハピネス・アンド・ディ単体収益の改善による企業価値の向上
- (2) グループ会社の成長拡大による企業価値の向上
- (3) 株主還元策及び株主優待に関して
- (4) I R活動の推進・強化

3. 取組内容

(1) ハピネス・アンド・ディ単体収益の改善

2024年8月期、2025年8月期において、当社は環境変化を踏まえ、宝飾・地金商品の強化、時計部門の縮小、高粗利商材の展開強化、ヴィンテージ商品の取扱い拡大、不採算店舗の閉店などの構造改革を進めてまいりました。これらの施策は着実な成果を上げており、当事業年度においても引き続き下記の施策を強化することで収益の改善に取り組み、株価向上を図ってまいります。

① ヴィンテージ商品の展開拡大

2025年8月期の下期より開始したヴィンテージ商品の取扱いについては、さらに取扱店舗の拡充を図ってまいります。店舗規模に応じた商品取扱いの精度を高め、商品の仕入れ体制の強化とともに、利益率向上へ向けた自社買取りの体制整備も進めてまいります。

② 宝飾・地金商品の強化

これまで重点課題としてきた宝飾・地金商品の強化は、商品ラインの拡大とともに売上実績を積み上げてまいりました。当期においても催事開催を強化し、店舗スタッフの育成も含めて引き続き販売強化に努めてまいります。また、仕入れ体制の改善にも努め、利益率の向上を図ってまいります。

③ カジュアルブランド商品の強化

顧客の購買力に応じたカジュアルブランド商材の強化を引き続き進めてまいります。新規ブランドの導入とともに在庫コントロールの精度を高め、売上の底上げを図ってまいります。

④ 店舗統廃合について

2024年8月期において17店舗、2025年8月期において14店舗の不採算店の閉鎖を行いましたことから、不採算店舗の撤退は一巡したと考えております。当事業年度以降においては営業政策の浸透により収益構造の改善が図れるものと考えております。

(2) グループ会社の成長拡大

当社は2022年12月に都市型マーケットに強みを持つ宝飾製造・販売の株式会社AbHeriを完全子会社化し、2023年10月には新ジュエリーブランドの創出を目的として株式会社No.を設立いたしました。これらグループ会社は、これまでの地方型マーケットを主とするハピネス・アンド・ディと異なり、インバウンド需要、都市型マーケットをターゲットとしており、顧客層をすみ分けながら宝飾中心のグループ展開の強化と成長拡大を図るものです。当事業年度においては、以下の施策を推進し収益改善を図ってまいります。

① AbHeri

2025年8月期においては東京都の2店舗を銀座店に統合し、新たに大阪店を出店したことで、福岡店を含め3店舗の直営店体制となりました。当事業年度においては、大阪店を関西圏の旗艦店舗とすべく顧客開拓とプロモーションの強化に努めてまいります。また、調査段階にあった中国進出についても、本格的な販売段階への移行を進めてまいります。

② 株式会社No.

設立2年目にあたる2025年8月期においては、商品開発を終えブランドローンチとともにイベント催事を開催してまいりました。今後においてはイベント催事、ポップアップ店舗によるブランド認知と販路拡大に努めてまいります。

(3) 株主還元及び株主優待に関して

当社はこれまで株主への積極的な利益還元を図るため、継続的な安定配当に十分配慮し、業績面・財務基盤も念頭に置きつつ配当の実施を継続してまいりました。しかしながら 2025 年 8 月期において親会社株主に帰属する当期純損失を計上し、大変厳しい結果となりましたことから、誠に遺憾ながら期末配当金を無配とさせていただきます。業績の改善に努め早期に復配できるよう努めてまいる所存です。

また、個人株主が多数を占める当社の株主構成を考慮し、優待商品、優待券及び優待割引券を内容とする株主優待制度を充実させてまいりましたが、2025 年 11 月 18 日公表の「株主優待制度の変更に関するお知らせ」に記載のとおり、当社株式への投資魅力を一層高めることを目的として、「ハピネス・アンド・ディ・プレミアム優待倶楽部」への優待制度変更を決定いたしました。個人株主の株主優待への関心・期待は高いことから、今後においても株主の期待に応える優待内容の充実に引き続き努める所存です。

(4) IR 活動の推進・強化

株主のみならず、投資家・アナリスト等を含めたステークホルダーへの説明責任を十分に果たし、長期的な信頼関係を構築するために、当事業年度は次の取組みにより IR 活動を強化してまいります。

① 月次売上高前年比等の開示

2025 年 10 月度の速報値から、月次売上高等の開示を開始いたしました。

足元の動向について速報性を重視した公表を継続してまいります。

② 機関投資家向けミーティングの強化

これまで、一般投資家向け情報開示を中心に I R 活動を行ってまいりましたが、アナリストレポート等の公表や機関投資家向けミーティング等の I R 活動を強化してまいります。

③ 決算説明会や個別面談の対応等、株主との対話の場を積極的に設けるとともに、ホームページ及び SNS による情報発信の充実にも努め、当社グループの事業内容の理解促進とファン作りに努めてまいります。

以上の施策により、収益の改善と当社グループの企業価値向上に努め、株価上昇による流通株式時価総額の基準達成に取り組んでまいります。

以 上